

南部町人権・同和研究集会開催

町民みんなと一緒に 気づき・考え・行動しよう



2月23日、南部町公民館富有まんてんホールを全体会場に、平成24年度・第1回南部町人権・同和研究集会が開催されました。全体会では、田丸実行委員会委員長の基調提案と外川正明教授（鳥取県環境大学）の記念講演。分科会は、学校教育と社会教育に分かれ、今年度の取り組みを報告し、実践交流をしました。

全体会の報告



【基調提案】同和教育を基軸とした人権教育を推進し、教科書無償や統一応募用紙の取り組みなどの差別と闘ってきた人々の生き方に学び、人権が大黒柱の町づくりをめざそう。（田丸実行委員長）

【記念講演】『同和教育が大切にしてきたこと』と題して、「差別の現実」に深く学び、生活を高め、未来を保障する教育の確立」をめざしてきた同和教育は「すべての子どもの教育や生活をささえるもと」（外川鳥取環境大学教授）



分科会の報告

【社会教育・会場】南部中学校図書室

【助言者】盛田 恭司（県教育委員会人権教育課係長）



【社会教育】

《報告①》地域の人権学習推進委員が、日頃の生活の中にある人権に関することをテーマとした懇談会「気になる人権」と、大国地域全体を対象に障がいと人権をテーマに開催した「心に響く音楽会」を瀬尾潤一さん（人権学習推進委員班長）が報告。

《報告②》天津人権学習の会より、第27回人権啓発研究集会（全国集会）へ参加し「人権学習は生涯学習」と岩田栄隆さん（地域振興協議会副会長）が報告。

【学校教育・会場】富有まんてんホール

【助言者】牧田礼次郎（県教育委員会人権教育課係長）



【学校教育】町内の小、中学校の人権教育主任5名（大下先生・尾崎先生・金森先生・岡田先生・三嶋先生）が各学校の特徴的な取り組みを紹介し、パネルディスカッション（公開討論会）を行った。

【講評】この会の開催自体に意義がある。学校教育も社会教育も、生涯にわたって教育を保障する（人権としての教育）と捉え、人々がそこに参画し、継続していくことで人権尊重社会が実現する。（盛田恭司係長）